

## 建築鉄骨構造技術支援協会「鉄骨技術フォーラム2024」

### 一鉄骨造建築物の構造設計・鉄骨製作等における疑問に答える一

#### 開催の趣旨

今年度のフォーラムもこれまでと同様、角形鋼管柱を用いた中小規模鉄骨造建築物を主な対象として、鋼材、構造設計、鉄骨製作、現場施工等における会員各位の日頃から抱える疑問点に当協会の関係者が回答し、更にそれらについて意見交換を行うことを考えております。フォーラムの詳細は以下の通りです。

尚、今回のフォーラムでは昨年同様、より多くの方々にも情報提供ができるよう配慮し、WEB配信も併用することとしております。鉄骨構造物に関心をお持ちの多くの方々の参加をお待ちしております。

(一社) 建築鉄骨構造技術支援協会 理事長 稲田達夫

#### 記

主催 (一社) 建築鉄骨構造技術支援協会

後援 (一社) 東京構造設計事務所協会 (ASDO)

日時 2024年11月27日(水) 13:30~16:30 (開場: 13:00)

会場 アルカディア市ヶ谷5階大雪の間

東京都千代田区九段北4丁目2-25

参加費 会員6,000円、非会員8,000円 ※ASDO会員、全青会会員は当協会会員として扱います  
(WEB配信希望の場合は、会員3,000円、非会員6,000円)

定員 会場参加 60名程度、WEB配信 60名程度 (いずれも申し込み順とします)

定員になり次第、申し込みを締め切ります。

#### プログラム

1. 理事長挨拶

2. 鉄骨造建築物の設計・鉄骨製作等における疑問に答える。

コーディネータ: 岡部純

回答者: 伊藤優、稲田達夫、千田光、護雅典、増田浩志、山内哲理

質問例を以下に示します。9月30日まで質問を受け付けます。

3. SASST調査研究委員会からの報告

4. 意見交換会(懇親会)

会場: アルカディア市ヶ谷2階レストラン スリーゼ

定員: 30名程度(会費3000円、当日、現地にて徴収します。)

- ①間柱等を受ける GPL と SPL の距離
- ②溶融亜鉛めっき中ボルト孔径について
- ③仕口部裏当て金の組立溶接について
- ④柱コラムコーナーのキズの処理について
- ⑤屋根折版下地のボルト継手まわり処理
- ⑥ルーズホールの摩擦接合面処理について
- ⑦冷間成形角形鋼管の母材について
- ⑧丸棒ブレースについて

- ⑨勾配梁の切断方法について
- ⑩精度検査成績表への記入要領について
- ⑪胴縁材の 2C について
- ⑫板厚 16mm 超に適用する異形隅肉溶接
- ⑬メッキ構造端部のはつり・回し溶接について
- ⑭軽量形鋼への高力ボルト使用について
- ⑮AW ロボットオペレータ検定におけるシャ  
ルピー値